

腎臓内科



診療科長
八幡 兼成

専門医資格等 日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医
日本糖尿病学会専門医
日本内科学会専門医
京都大学医学博士

□ スタッフ

平成24年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	瀬田 公一	日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 日本高血圧学会専門医 日本内科学会認定医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本急性血液浄化学会認定指導者 京都大学医学博士		
医 師	菊地 祐子	日本内科学会認定医 日本透析医学会専門医		
医 師	小泉 三輝	日本内科学会認定医		
医 師	金子 恵一	日本内科学会認定医		
専 修 医	村田 真紀	日本内科学会認定医		

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本腎臓学会研修施設 日本透析医学会認定施設 日本急性血液浄化学会認定指定施設
-------	---

1. 積極的に腎生検を行い、早ければ翌日には診断がつく体制を取っている
2. 血液透析だけでなく、血漿交換や持続血液ろ過透析など急性血液浄化に対応できる
3. 腹膜透析も多く導入している
4. 学会発表・論文執筆・臨床研究を積極的に行っている

□ 主な対象疾患

急性腎不全、慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、急速進行性糸球体腎炎、多発性嚢胞腎、Gitelman症候群、高血圧症

□ 診療(業務)内容

1. 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群などに対して腎生検を行い、その結果に基づいて治療を行っている。
2. 保存期腎不全に対し、血圧管理を始めとした腎保護療法を行い、末期腎不全への進行を抑制できるようにしている。

3. 末期腎不全に陥った場合、腎移植・腹膜透析・血液透析の3つの選択肢を提示し、患者に合った治療を提供している。

□ 診療実績(平成24年度)

入院患者数

外来患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数	1日平均患者数
14.7名	341名	14.9日	35.2名

主な疾患の件数など

腎生検数	血液浄化療法延べ件数	血液透析導入患者数	腹膜透析導入患者数
74件	2,397件	28件	6件

□ 地域医療連携・広報活動

・CKDに関する学術講演会 in 南京都

「当院における腎疾患診療と病診連携」 八幡 兼成

2012年4月21日 京都タワーホテル

・先行的移植を行った血液型不適合生体腎移植の2例

金子 恵一、村田 真紀、小泉 三輝、菊地 祐子、瀬田 公一、八幡 兼成

2012年6月30日 第2回京滋腎移植・腎不全治療研究会

・伏見CKD医療連携の会講演会

「糖尿病性腎症患者で注意する薬」 菊地 祐子

「CKD患者の降圧療法」 瀬田 公一

「腎性貧血治療への取り組み」 八幡 兼成

「糖尿病患者の腎障害 -腎生検50例の検討-」 金子 恵一

「日本人2型糖尿病の心血管イベント ～多施設共同研究の結果から～」 大石クリニック 大石まりこ先生

2012年9月8日 京都ロイヤルホテル&スパ

・腎臓病教室応用編

2012年9月29日 京都医療センター多目的ホール

・糖尿病臨床カンファレンス

「CKD診療のコツ」 八幡 兼成

2012年10月13日 京都センチュリーホテル

・糖尿病患者の腎障害腎生検50例の検討

金子 恵一、村田 真紀、小泉 三輝、菊地 祐子、瀬田 公一、八幡 兼成

2013年10月18日 糖尿病と透析を語る会

・世界腎臓デー関連イベント

2013年3月14日 京都医療センターロビー

・糖尿病看護スキルアップセミナー

「糖尿病透析予防外来に期待すること」 八幡 兼成 2013年3月20日 メルパルク京都

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国内学会	Cryoglobulin陽性かつ補体低下を認める膜性腎症を合併した慢性C型肝炎の1例 袴田 圭祐,金子 恵一,村田 真紀,小泉 三輝,菊地 祐子,瀬田 公一,八幡 兼成 第199回日本内科学会近畿地方会
国内学会	基礎疾患の鑑別に難渋したAAアミロイドーシスによるネフローゼ症候群の1例 垣田 真以子,小泉 三輝,村田 真紀,金子 恵一,菊地 祐子,瀬田 公一,奥野 芳章,小山 弘,八幡 兼成 第199回日本内科学会近畿地方会

国内学会	半年後に細胞性半月体を伴う再燃を認めた管内増殖性腎炎 村田 真紀, 菊地 祐子, 金子 恵一, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 八幡 兼成 日本腎臓学会誌(0385-2385)54巻6号 Page870(2012.08)
国内学会	糖尿病合併患者における腎生検診断と臨床所見 金子 恵一, 村田 真紀, 小泉 三輝, 菊地 祐子, 瀬田 公一, 八幡 兼成 日本腎臓学会誌(0385-2385)54巻6号 Page868(2012.08)
国内学会	Sunitinib使用から2.3年後の腎生検でThrombotic microangiopathyを呈していたネフローゼ症候群の症例 菊地 祐子, 村田 真紀, 金子 恵一, 小泉 三輝, 瀬田 公一, 八幡 兼成 日本腎臓学会誌(0385-2385)54巻6号 Page865(2012.08)
国内学会	当院でのsustained low-efficiency dialysis(SLED)について 瀬田 公一, 小泉 三輝, 金子 恵一, 菊地 祐子, 八幡 兼成 日本透析医学会雑誌(1340-3451)45巻Suppl.1 Page443(2012.05)
国内学会	異なる臨床経過をたどったコレステロール結晶塞栓症の2例 小泉 三輝, 村田 真紀, 金子 恵一, 菊地 祐子, 瀬田 公一, 八幡 兼成 日本透析医学会雑誌(1340-3451)45巻Suppl.1 Page408(2012.05)
国内学会	CKD患者の降圧目標達成率についての検討 瀬田 公一, 金子 恵一, 小泉 三輝, 菊地 祐子, 八幡 兼成 日本腎臓学会誌(0385-2385)54巻3号 Page317(2012.04)
国内学会	Bevacizumabによる蛋白尿のリスク因子の検討 金子 恵一, 村田 真紀, 小泉 三輝, 菊地 祐子, 瀬田 公一, 八幡 兼成 日本腎臓学会誌(0385-2385)54巻3号 Page253(2012.04)

□ 投稿論文など

著書・雑誌名	著者・タイトル
Gamma 1-Heavy Chain Deposition Disease Accompanied by IgG kappa in Serum, Urine, and Bone Marrow	Ikeiichi Kaneko, M.D., Koichi Seta, M.D., Ph.D., Jun Soma, M.D., Ph.D., Takashi Kuwahara, M.D., Ph.D., Mitsuteru Koizumi, M.D., Yuko Kikuchi, M.D., Akira Sugawara, M.D, Ph.D., Kensei Yahata, M.D., Ph.D. Clin Exp Nephrol. accepted. 2012
Glomerular Endotheliosis in a Pregnant Woman with Severe Gestational Proteinuria	Mitsuteru Koizumi, Kensei Yahata, Shoko Ohno, Kenichi Koga, Yuuko Kikuchi, Chinatsu Hasegawa, Koichi Seta, Takashi Kuwahara, Akira Sugawara. Intern Med. accepted. 2012
Chaga mushroom-induced oxalate nephropathy.	Kikuchi Y, Seta K, Ogawa Y, Takayama T, Nagata M, Taguchi T, Yahata K. Clin Nephrol. 2012 Nov 14.
Tolvaptan in patients with autosomal dominant polycystic kidney disease.	Seta K As one of the TEMPO 3:4 Trial Investigators; Torres VE, Chapman AB, Devuyst O, et al. N Engl J Med. 367:2407-18, 2012
心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP), 脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP, NT-proBNP).	瀬田公一, 菅原照. 臨床検査ガイド2013~2014 文光堂 Page511-516, 2013
新痛みのマネージメント 各立場からみた鎮痛薬の適正使用と使い方	瀬田公一. 腎臓内科の立場から Prog. Med 33:37-40, 2013
診療の秘訣 「急速進行性糸球体肝炎」	瀬田公一. Modern Physician. 32:1403, 2012
私の処方 「利尿剤を見直す」	瀬田公一. Modern Physician. 32:903, 2012
脱水と血管内容量の評価.	小泉三輝. 原則から処方の具体例までわかる 輸血のコツとポイント 文光堂. Page 30-37, 2012